

令和6年度 子ども議会 開催!!



題字／菊池南中学校2年 八須賀 すそのさん、立石 一華さん
坂本 夏梨さん、武藤 花奈さん

議会だより

9月定例会 Contents

特集『子ども議会』	2~3
議会構成	4~5
定例会審議結果	6
委員会報告	7~9
13人が市政を問う	12~18
令和5年度政務活動費	19

令和6年度

菊池市 子ども議会

令和6年8月1日、市内の5つの中学校から21名が出席し、子ども議会が開催されました。一般質問の中では、さまざまな提案や、課題解決のヒントとなるような大変貴重なご意見をいただきました。

子ども議会もインターネットで!!



菊池市議会HP 議会中継
菊池市子ども議会

今回や過去に開催された子ども議会の録画映像は、インターネットでご覧いただけます。

※編集の状況により、本号の発行より数日ほど配信が遅れる場合があります。ご了承ください。

令和6年度菊池市子ども議会 議長 井上偉月 (旭志中学校)



【感想】菊池市子ども議会で議長を務め私を感じたことは、緊張と自分自身の成長です。

議長として席に座っていることに不安と責任を感じ、初めは足が震えていました。

しかし、各校の子ども議員たちの堂々とした姿を見て、と、しだいに不安は消えて、自分に対する自信の無さも共に消えていきました。

この議会では、菊池市をよりよくするだけでなく、私が成長するきっかけを与えてくださりました。

こうした機会を作っていたいただいた関係者の皆様、本当にありがとうございました。

七城中学校

持続可能な七城町へ
〜里山ビオトープを継続していくために〜

【感想】

失敗しても伝えるということを意識したので、堂々と発表することができました。



岩根 凜太郎 田代 純

暮らしやすかあ〜!
超便利かあ〜!

【感想】他の提案や意見をよく聞いて自分の生活につながる点を探すことができました。



森 淳晴 古川 桜大

泗水中学校

人と人をつなぎ、
地域の活性化につなげる取組

【感想】

今日議員となり、質問・提案した私達が、菊池市の光となるのだと改めて感じました。



福田 有真 徳永 彩花

菊池産の農作物を
「菊池ブランド化」するために

【感想】菊池市について、改めて深く考えることができた貴重な機会となりました。



草野 柚 荒木 咲穂

● 菊池南中学校

二丁目に合わせた文教のまち
きくち学習会

【感想】

未来の菊池市のために自分達が今できることを真剣に考え、行動していきたいです。



加茂野 妃和 最上 葉月

今を大切に、大好きな菊池市を守っていくためにできること

【感想】

菊池市をより良くしていくために自分ができることを考えることができました。



米川 心響 城 聖羅

● 旭志中学校

高齢者の健康維持増進、フレイル予防のためのeスポーツ環境の普及について

【感想】

真剣に考えた質問に真剣に答弁してください、参加してよかったと思いました。



飯星 虹心 水上 かな

市民の命を守るために、現実を受け入れ、今やらなければならないこと

【感想】

菊池市について知り、気付きを発言していくことの大切さが分かりました。



水上 葉月 大塚 理央

● 菊池北中学校

菊池市に生まれ！
移住定住促進サポートシステム

【感想】

もつと菊池市について知って、考えて行動して、より良い市にしていきたいと思いました。



山本 龍之介 畑 美瑠

知って！私の事、広げよう！
市民の思いやりの心

【感想】

通告するに当たって、菊池市の地域福祉についてより深く考えることができました。



野満 葉南 松岡 美穂

【子ども議会を終えて】

子ども議員から、中学生独自の目線で質問や提案があり、それに対し執行部から答弁が行われました。中には施策に反映させていきたいという前向きな内容もあり、子どもたちが市政に参画し大変実りある素晴らしい子ども議会でした。



新しい議会構成が決まりました！

令和6年第2回定例会では、各常任委員会の任期満了に伴い、議会の委員会構成が決まりました。その他、特別委員会委員等の選任を行い、新しい議会の活動が始まりました。



稲継委員、平委員、木下委員、緒方委員長、島副委員長、工藤委員、福島委員

政策企画部・総務部・会計課・選挙管理委員会、監査委員・教育委員会の所管に属することの調査・審査を行う委員会です。

総務文教常任委員会



東委員、泉田委員、猿渡委員長、本藤副委員長、二ノ文委員、古田委員

市民環境部・健康福祉部・福祉事務所の所管に属することの調査・審査を行う委員会です。

福祉厚生常任委員会



後藤委員、山瀬委員、田中委員長、安武副委員長、荒木委員、大山委員

経済部・農業委員会・建設部・水道局の所管に属することの調査・審査を行う委員会です。

経済建設常任委員会

議会運営委員会

議会を円滑・効率的に運営するために、常任委員会とは別に設置する委員会であり、議会運営の責任者である議長の諮問的な性格を帯びた機関です。



緒方委員、工藤委員、後藤委員長、二ノ文副委員長、猿渡委員、田中委員

予算決算常任委員会

予算・決算に関する調査・審査を行う委員会であり、議長を除く、議員19名で構成し、総務文教・福祉厚生・経済建設の分科会を設置しています。



工藤委員長



稲継副委員長

議会広報特別委員会

議会だよりの発行を中心に、市政に係る重要な情報を市民に対し周知することを目的とした特別委員会です。



左から)本藤委員、大山委員、泉田副委員長、平委員長、安武委員、稲継委員

一部事務組合等議会議員構成

〔熊本県後期高齢者医療広域連合議会〕

熊本県内全ての市町村で構成し、被保険者資格の管理、医療給付、保険料の賦課、保険事業等の事務の広域処理に関する調査・審査を行う議会です。



猿渡議員

各市町村から1人ずつ選任します。

その他

〔菊池市都市計画審議会〕

都市計画法に基づき設置されている審議会です。市長の諮問に応じ都市計画に関する事項を調査・審議し答申したり、市長に建議したりする機関です。議会から4人を選任します。



大山委員



安武委員



田中委員



島委員

この定例会では、条例の制定、補正予算、人事案件など31議案が提案されたほか、報告が15件、議事が4件、請願が2件、陳情（継続審査）が1件、意見書案が2件あり、慎重に審議しました。

審議の結果、議案第45号、陳情第2号を除き、原案のとおり可決・承認・採択・同意しました。議案第45号は修正可決し、陳情第2号は不採択となりました。

開催日：6月14日（金）～7月5日（金）

主なものは以下のとおりです。

主な付議事件一覧及び審議結果表

※ 賛否の分かれた議案のみを掲載しています。

議案番号	議案名	結果
議案第32号	専決処分の報告及び承認を求めることについて (菊池市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	原案承認
議案第34号	専決処分の報告及び承認を求めることについて (令和5年度菊池市一般会計補正予算第17号)	原案承認
議案第42号	菊池市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について (P8に経済建設常任委員会での審査内容の一部を掲載しています)	原案可決
議案第45号	令和6年度菊池市一般会計補正予算(第3号) (P9に予算決算常任委員会・分科会での審査内容の一部を掲載しています)	修正可決
議案第46号	令和6年度菊池市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
請願第1号	現行健康保険証について当面の間の存続を求める請願 (P7に福祉厚生常任委員会での審査内容の一部を掲載しています)	採択
陳情第2号	迫間支館および重味グラウンドを公共施設として存続を求める陳情書	不採択
意見書案第3号	現行健康保険証について当面の間の存続を求める意見書 (P10に審査内容の一部を掲載しています)	原案可決

賛否表

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 /は議長職時

※ 下記以外の議案は、全会一致で可決しました。

議案	結果	議席番号 表決数 賛成 反対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
			本藤	安武	稲継	古田	島山	大田	福島	緒方	後藤	平	東	水	猿	荒	工	二ノ	泉	木	山	
			潔	睦夫	智康	浩敏	春代	宝治	教之	英徳	哲郎	英夫	直樹	奈津子	隆光	美智子	崇之	圭一郎	伸元	栄一朗	雄二	義也
議案第32号	承認	18対1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	承認	18対1	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	可決	18対1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	修正可決	16対3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	可決	18対1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	採択	15対4	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第2号	不採択	7対11	○	棄	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第3号	可決	14対5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

総務文教常任委員会報告

委員長／緒方 哲郎 副委員長／島 春代 委員／稲継 智康 福島 英徳 平 直樹 工藤 圭一郎 木下 雄二

可決

【議案第59号】
工事請負契約の締結について

内容 スマートフォンを持っていない75歳以上の高齢者世帯で、戸別受信機の設置を希望する世帯へ戸別受信機を設置するもの。

質疑 落札率は。また、既に土砂災害警戒区域及び難聴区域に配置している今の器械は、どうするのか。

答弁 落札率は、99%である。また、既に土砂災害警戒区域及び難聴区域に配置している戸別受信機は、デジタル型なので取替えはしない。

質疑 事業対象を75歳以上に線引きした根拠は。

答弁 スマートフォン等の利用率が低く、なじみのないと考えられる75歳以上の方を対象としたものである。

り、今後、75歳未満の方に対してもアンケート調査を行いたい。

議員問討議 75歳以上と決定した根拠について、客観的な事実を明文化したルールを作った上で、しっかりと対応するべきである。

議員問討議 対象外となるスマートフォンを持っている75歳以上の方でも、使い慣れない方もおられると思うので、そうした方にも対応できるような施策を行っていただきたい。



福祉厚生常任委員会報告

委員長／猿渡 美智子 副委員長／本藤 潔 委員／古田 浩敏 東 奈津子 二ノ文 伸元 泉田 栄一郎

可決

【議案第39号】
菊池市子ども子育て会議設置条例の一部を改正する条例の制定について

内容 子育て会議の所掌事務を見直すため、条例の一部を改正するもの。

質疑 こども計画を追加することによって変わるのか。

答弁 今までの支援施策以外に、子どもを中心に考えた施策や、子育て世帯・若者支援について取り組む。

質疑 子どもや若者の意見を反映させるために、どのような意見聴取を行うのか。

答弁 小学校5年生と中学校2年生及びその保護者。また18歳から30代までの若者へのアンケートの実施を考えている。

採択

【請願第1号】
現行健康保険証について当面の間の存続を求める請願

内容 現行健康保険証を当面の間は存続させる旨の意見書を国に対し提出するよう求めるもの。

質疑 現行の保険証を継続する場合、市にどういった不利益があるかと考えるか。

答弁 現行保険証の廃止に向けたシステム改修を行うので、現行保険証の発行及び資格確認書の発行の2種類の作業をすることになり、必要経費及び職員の業務量が増加すると思われる。



子ども議会
議会構成
定例会
委員会・分科会
一般質問
その他

経済建設常任委員会報告

委員長／田中 教之 副委員長／安武 睦夫 委員／大山 宝治 後藤 英夫 荒木 崇之 山瀬 義也

可決

【議案第42号】
菊池市営住宅条例の一部を改正する
条例の制定について

内容 蛇塚団地、元村団地及び林原団地を用途廃止するに当たり、条例の一部を改正するもの。

質疑 用途廃止後の計画は。

答弁 林原団地については市場ニーズが高いことから、土地の評価額から解体費の見積額を差し引いた価格で売却しようと考えている。また、蛇塚団地、元村団地については、宅地化して売却する方向で検討している。

質疑 用途廃止をする団地の築年数は何年か。また、同時期に建設している団地も処分していくのか。

答弁 築年数はいずれも40年を超えている。また、菊池市公営住宅等

長寿命化計画の中で、現在の団地の戸数1,170戸から令和9年度末までに986戸へ削減する目標があり、順次目標に基づいて実施していく。

議員問討議 団地の廃止は以前からの計画によるものと思うが、最近では住宅需要の増加など事情が変わってきているので、存続や住宅の形を残した上で民間に売却するなど、今後の状況に合わせ、計画を見直してほしい。

議員問討議 団地の跡地については、人口増につながるような活用をしてほしい。



永年勤続表彰

水上 隆光 議長(10年)
平 直樹 副議長(10年)
猿渡美智子 議員(10年)
東 奈津子 議員(10年)

第100回全国市議会議長会定期総会において、永年にわたる市政の振興に努められた功績に対し、水上隆光議長、平直樹副議長、猿渡美智子議員、東奈津子議員に市議会議員として10年の表彰状が贈呈されました。

伝達は、令和6年第2回定例会の開会日(6月14日)に議場で行われました。



東議員、猿渡議員、平副議長、水上議長

感謝状

九州市議会議長会より、九州市議会議長会理事として会務運営の重責にあたられ、その使命達成に尽くされた功績に対し、水上隆光議長へ感謝状が贈呈されました。



水上議長

予算決算常任委員会報告

委員長／工藤 圭一郎 副委員長／稲継 智康

分科会長／(総務文教)緒方 哲郎 (福祉厚生)猿渡 美智子 (経済建設)田中 教之 委員／議長を除く14名



【議案第45号】 令和6年度菊池市一般会計補正予算(第3号)

物価高騰対応重点支援 事業(給食費)

1,464万1,000円

内容 学校給食の食材が高騰し、給食費の値上げを実施したが、それ以上に物価が上昇していることから、給食費の値上げ以上に物価が上昇している分に対して補助金を交付するもの。

質疑 職員に補助金を交付することに對して、執行部内で異議は無かったのか。

答弁 教育委員会では、学校給食は、食育の場であり食育の一環であると考えている。

修正案提案理由

同事業の保育所等給食費補助金では、職員分の補助金が計上されておらず、不公平であるため賛成できない。補助金のうち職員分に充てられた一般財源全額を予

備費に回す修正案を提出する。



菊池地区学校給食共同調理場

予防接種事業

7,956万5,000円

内容 65歳以上及び60歳から64歳までの重症化リスクの高い方を対象に、新型コロナウイルススワクチン接種を行うもの。自己負担額は2,100円となる予定である。

質疑 接種を行う期間と医療機関は決まっているのか。

答弁 国が令和6年10月1日から令和7年3月31日までと示しており、それに従い準備をしたい。医療機関については現時点では決まっていない。

質疑 対象者以外の接種希望者の自己負担額は。

答弁 現時点では、1万5,300円の全額を自己負担でお願いしたい。

物価高騰対応重点支援 事業(畜産業費)

7,112万8,000円

内容 物価高騰による畜産経営への影響緩和のため、上限額を27万円とし、令和5年中の飼料費に100分の5を乗じた額を交付するもの。

質疑 執行率の見込みは。

答弁 対象の農家戸数は365戸で、前年度実績により、申請の数を約290戸と見込んでいる。

議員問討議 執行率の見込みを早くつけた上で、この国庫支出金を有効に活用していただきたい。その上で、酪農対策で加算をするなど今後検討してほしい。

議員問討議 前回は上限額30万円であり、3万円分を一般財源から加算してでもやるべきではないか。



子ども議会
議会構成
定例会
委員会・分科会
一般質問
その他

国に意見書を提出

少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書

学校現場では、貧困・いじめ・不登校・教職員の長時間労働や未配置など解決すべき課題が山積し、子どもたちのゆたかな学びを保障するための時間を確保することが困難な状況となっている。ゆたかな学びや働き方改革を実現するためには、加配教員の増員や少数職種への配置増など教職員定数改善が不可欠です。

法改正により、小学校の学級編制標準は段階的に35人に引き下げられ、計画通りに進捗すれば、2025年度に完了となり、今後、小学校に留まらず、中学校・高等学校での早期実施と、きめ細かい教育活動をすすめるため、さらなる学級編制標準の引き下げ、少人数学級の実現が必要です。

よって、国会及び政府は、実情を認識し、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるように、次の措置を講じるよう要請します。

1 中学校・高等学校の35人学級を早急に実施すること。また、さらなる学級編制標準の引き下げ等少人数学級について検討すべし。

2 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。

3 自治体で国の標準を下回る「学級編制基準の弾力的運用」の実施ができるよう加配の削減は行わないこと。

4 教職員の処遇について、新規採用を持続的に確保し、専門性を発揮し意欲をもって働くことができるよう、改善に必要な財政措置を講じること。

現行健康保険証について当面の間の存続を求める意見書

マイナンバーカードに健康保険証機能を組み込んだ「マイナ保険証」の普及のため2024年12月2日に現行の健康保険証を廃止することが決定されました。

私たちは、マイナンバーカードの導入について反対するものではありません。しかし「マイナ保険証」に関しては、窓口で無効と判断され医療費の10割が請求された事例や他人の情報カードに紐づけられていたケースが判明するなど、国民の健康や生命に影響を及ぼす恐れのある問題が顕在化しています。

また、「マイナ保険証」の利用率は、昨年4月

の6.29%から12月の4.29%まで低下しています。

また、高齢者にとっては、マイナ保険証の紛失、暗証番号の失念、高齢施設での管理の問題等について懸念され、被保険者や医療現場からも懸念の声が上がるなど、国民の不安も解消されないままに廃止が決定され、国民皆保険制度の根幹が揺らぐこととしています。

今、何ら不都合なく安心して使っている現行健康保険証を当面の間、存続させ現行保険証とマイナ保険証の選択制を打ち出していた原点到立ち返るために、日本政府の冷静な判断を強く求めます。

意見交換会

福祉厚生常任委員会と民生児童委員との意見交換会を、7月19日に行いました。

議会から、民生委員・児童委員は全国的に担い手不足であるが、菊池市で欠員はないと聞いている。皆様のご尽力に感謝しますとの挨拶の後、高齢者の見守り支援や、移動支援などの課題について、活発な意見交換を行いました。



議会改革検討特別委員会の中間報告

議会改革検討特別委員会の中間報告をいたします。

この特別委員会は、より一層市民の負託に応えるため、また市民生活の向上と民主政治の発展に寄与するため、10人の委員で構成し、令和5年3月17日に設置され、12回の委員会を開催してきました。

なお、検討する項目については、議員定数、費用弁償、政務活動費、予算決算常任委員会、開かれた議会づくりの5つとしております。

はじめに、予算決算常任委員会の必要性を審査した結果、議案の分割付託の違法性・不適切性を考慮し、存続させるとの結論となりました。

次に、費用弁償について、県内13市の支給状況を調査の上、議論を重ねました。費用弁償継続とする意見と、廃止とする意見があり、採決により廃止するという結果となりました。しかし交通弱者への配慮として、実費支給とすべきとの結論を

見ています。

次に、議員定数について、審査した内容を申し上げます。

本特別委員会では、市民3,000人に対し「議員定数に関するアンケート調査」を実施し、回収率が約30%で、回答数は、880人となり、回答の内訳は、「増員」が2.2%、「現状のまま」が26.1%、「削減」が61%、「わからない」が9.7%という結果となっております。定数増を望む委員はおりませんでしたので、現状維持か定数削減か議論し、採決により現状維持が3人、削減が6人となり、定数削減という結論をみております。削減する人数については、議論を重ねましたが、意見は平行線をたどったため、本特別委員会では削減する人数は示さないとの結論をみております。

最後に、審査が未着手となっている検討項目である政務活動費と、開かれた議会づくりの2つについては、直ちに審査を開始することとしております。

TSMC進出に関する政策提言書

1 土地開発基金について

現在、土地開発基金の活用は考えていないとのことだったが、民間による開発を誘発するためにも市が率先して活用すべきである。

2 ゾーニングに関して

現状では、本市のゾーニングに関する市の施策は、不十分であるため、関連する本市の各種計画を早期に見直し、区域内において、特に住宅開発が見込まれる旭志・泗水地区に、公共上下水道を新設し、また、居住者に対する各種補助制度を拡充すべきである。併せて、開発に関する相談窓口の一本化も進めるべきである。

3 街中開発について

TSMC進出に伴う街中開発については、拡幅や改良工事が進む道路を含む

4 竜門ダムの水の利活用について

インフラ整備に合わせ、各種団体との協議を重ねながら、計画的にホテル等の増改築や新築に関する新たな民間への支援策を講じるなどして、早急に市のビジョンを示すべきである。

竜門ダム工業用水の未利用水活用については、市民へ十分な説明を行いつつ、本市にとって有益な施策を講じるべきである。



Q 不登校児への支援の状況は。

A 菊池市不登校対策推進計画に基づき、様々な支援を行っている。



泉田 栄一郎 議員



Q 本市内の不登校児童が年々増加している。文部科学省の「誰一人取り残されない、学びの保障に向けた不登校対策」のプランで、本市に校内教育支援センターが設置されたが、その活動内容と取組、現在の不登校人数を問う。

A 教室以外の場所に対応していた生徒への学びの場の保障や不登校の初期段階での支援を行っている。また、2名の指導員を配置し、社会的自立に向けた支援や、長期化する不登校生徒に対し訪問支援や送迎を行っている。令和6年3月末時点での不登校児童生徒数は小中学校あわせて223人である。

孔子公園の活用

Q 子どもの水遊び場を整備する考えは。

A 再整備基本方針

策定に向け、今年度中に市民・関係団体とワークショップを行い、活用方法を検討していく。

Q 孔子公園の本格的な中国建築という特色を活かし、台湾風夜市等を企画して人を呼び込む施策はできないか。

A 孔子公園の指定管理者である有限会社有朋の里洒水と協議していく。



孔子公園

その他の質問

- ・防犯対策
- ・単身高齢者の終活支援

Q 小中学校における熱中症対策はどう行っているか。

A 製氷機の設置や経口補水液を全校常備している。



稲継 智康 議員



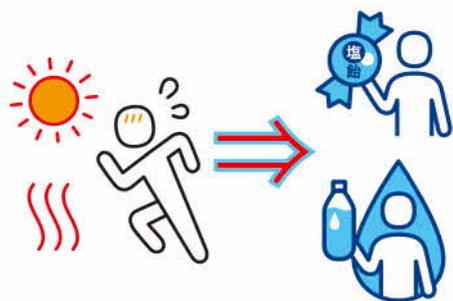
Q 熱中症対策に関し、中学校部活動時の対策は。

A 熱中症計の測定に加え、暑い時間帯を避け、朝夕に練習をしている。また、教職員と部活動指導者で熱中症対策の共通認識を図り、こまめな水分や塩分の補給と休憩時間の確保を行っている。

社会体育施設

Q 社会体育施設のLED化の状況と今後は。

A 体育館10施設の



内、七城体育館、泗水B&G海洋センター体育館、泗水第2体育館の3施設をLED化している。また、グラウンド5施設の内、七城グラウンド及び屋外テニスコートをLED化しており、七城屋内スポーツセンターについては、現在、LED化工事を実施している。今後は、「菊池市体育施設マネジメント計画及び長寿命化計画」に基づき整備を進めていく。

Q 多目的グラウンドの管理・整備の体制は。

A 利用の受付は社会体育課が行い、維持管理・整備は都市整備課が行っている。

その他の質問

- ・施設の修繕について

Q ゾーニング後の都市計画(用途地域等)の考えは。

A 定住化施策を都市計画マスタープランに反映し策定する。



後藤 英夫 議員



Q 森林の果たす役割は大きく、本市には独自のストーリーリー性がある。菊池産木材の活用に向けた考えは。また、森林認証制度やJークレジットを活用する考えは。

A 菊池市建築物等木材利用基本方針に基づき、県内で生産又は製造された県産資材の利用促進を行っている。森林認証制度やJークレジットの現段階での活用は難しいが、本市の森林は重要な資源と考えており、長期的に保全を進めながら、バランスのとれた活用を図っていききたい。

外国人労働者への対応

Q 外国人労働者と外国人技能実習生の現状と対応は。

A 令和6年3月31日現在の在住外国人登録者数は1,233

1名で、内約1,000名が技能実習生である。避難所の英語表記やホームページ等で外国語表示ができる体制を整えている。また、ごみの分類表を4か国語で作成し、転入の際や市内企業へ配布するなどしている。

Q 外国人の医療機関受診時に問診票が日本語の為、理解できない、かけない等問題の現状認識と解決に向けた考えは。

A 医療機関を受診される際、市が主導して行っている支援制度はない。どのような対応が必要か調査していきたい。

その他の質問

・北宮・深川・大琳寺区2か所の里道の市道認定・道路改良の今後の見通しは

Q 带状疱疹ワクチン接種費用の助成をする考えは。

A 国の検討状況等を注視しながら、調査研究していきたい。



島 春代 議員



Q 全国で助成導入している自治体が急増しており、市民の要望も多く聞かれている。日本疫学調査を基にした試算では、助成をすることで本市の医療費が約270万円削減できると推計されるがどう考えるか。

A 带状疱疹ワクチン接種は、国において、定期接種化に向けて有効性、安全性、費用対効果等について、慎重に検討されている。ワクチン接種における医療費の削減効果については、情報の1つとして

て参考にさせていただく。

Q 療養生活での経済面の支援は必要と思うが補助具費用の助成の考えは。

A 療養生活の質の向上を図ることは大変重要であると考えている。アピアランスケアに対する助成については、県において一部助成を実施されているため、他市町の状況を踏まえ前向きに検討していきたい。

がん患者のアピアランスケア推進



その他の質問

・軟骨伝導イヤホンの設置
・熱中症から市民を守る取組

Q 政治的ビラの公共施設への掲示は不適切ではないか。

A イベント告知に関する掲示は認めている。



荒木 崇之 議員



Q 江頭市長の政治団体のビラを中央図書館に掲示していたのは、市長の公共施設の私物化に他ならない。

近隣の自治体では、公職選挙法や地方公務員法に抵触する恐れがあるため、掲示を認めていない。

なぜ本市だけは市長を優遇するのか。

A 今回の市政報告会及び特別講演会のイベント告知については、周知を目的としたものと捉え、掲示を許可した。議員

各位が政治活動に係る報告会を開催するために、公民館の研修室等を申込み、そのイベントの告知をされる場合においても、掲示は問題ないと考え運用を行っている。

その他の質問

- ・選挙管理委員会の対応

Q ゴルフ場利用税交付金をどのように利用したか。

A ゴルフ場周辺の道路整備含め利用している。



田中 教之 議員



Q インバウンドを見据えてゴルフツーリズム(ゴルフ目的の旅行)を推進し、地域を活性化をできないか。

A 外国人向けのプロモーションや受け入れ態勢の整備等、インバウンド施策に取り組みつつ、集客が見込まれるゴルフツーリズムに関しても、観光協会が中心となって取り組んでいただけのように、協力・連携しながら調査研究を進めていく。

地産地消の推進

Q 日本各地の産業を衰退させる貿易手法と分析されている「自損型輸入」に対応

するためには、より一層の地産地消の推進が重要だと考えるが、市の取組状況を示せ。

A 令和5年度より、小中学校給食に、特別栽培で生産された菊池米を提供している。また、菊池水田ごぼうをはじめとする本市農林畜産物のブランド化や「菊池うまかもんスタンプラリー」等の取組により、地産地消を推進している。そのほか、各道の駅などで、地元で生産された野菜や特産品を販売するほか、市内外の消費者に向け、SNS等を活用し、情報発信を行っている。

その他の質問

- ・教育現場における保護者の諸費等の支払いの現状

Q 本市農業従事者の戸数は。

A 耕種農家は1,491経営体で、畜産農家は326経営体である。



緒方 哲郎 議員



Q 70%を超える50代以上の農業従事者と耕種農家への支援の考えは。

A 産地生産基盤パワーアップ事業や担い手確保・経営強化支援事業、くまもと土地利用型農業競争力強化支援事業などを活用した施設整備や機械導入が行われている。今後も県や関係団体と連携を行いながら、多くの農業業者の方が補助事業の採択が受けられるよう支援を行ってきたい。

菊之池小学校校舎

Q 今後も児童数が増えるであろう菊之池小学校校舎の建て替えの考えは。

A 現時点での建て替えの計画はないが、仮に建て替えるとした場合、立地の課題や財源の課題があると考えられる。今後も、市の人口動態を注視し、増築や改築での対応が難しいと判断したときは、学校規模適正化に向けて協議していく。

Q 「認知症」の早期発見、早期対応に対する取組は。

A 自宅訪問や専門医受診につなげる対応を行っている。



本藤 潔 議員



Q どこシル伝言板（見守りシール）の登録者数も含めた啓発はどのように進めるのか。

A 各種会議やイベントでの周知を更に進め、現在の登録者から意見を収集し、課題と状況の把握を行っていく。

少子化対策

Q 子どもを産み育てることを経済的理



由で諦めない本市独自の取組は。

A 18歳までの子どもを対象に子ども医療費助成事業、多子世帯に保育所等の副食費補助や、すくすく子宝祝金の支給、ファミリーサポートセンターの利用者にきょうだいで子どもを預ける場合の第2子以降を無償化、小川基金を活用した給付型の奨学金や奨学資金貸付事業などを実施している。

Q 子どもが健やかに育つという安心感を持てる独自の取組は。

A 保育所等における待機児童ゼロの堅持や医療的ケア児の受入れ態勢の確保などの子育て支援事業を実施している。

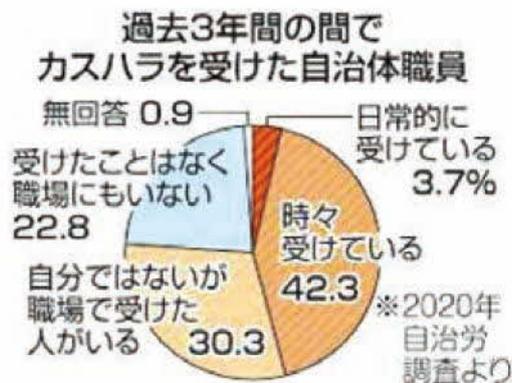
子ども議会
議会構成
定例会
委員会・分科会
一般質問
その他

Q 補助事業申請時の要綱を見直す考えはないか。

A 現状では現行のままの対応をしていきたい。



福島 英徳 議員



Q 補助事業の申請時は、2者以上の見積書添付が必要だが、河川管理委託は当該1者との契約で、その他の業者には打診すらしていない理由を示せ。また、市民からの批判が多いこの契約を来年度から見直す考えはないか。

A 国や県から受託している河川の除草費用は、委託先である市が営利団体ではないため経費部分で

大幅に削除した金額になっている。そのため、基本営利団体では受託が困難と考え、地元の非営利団体と随意契約を行っているものである。今後も現行の委託方法を継続していきたいと考えている。

カスハラ

Q 最近、民間企業や自治体でカスハラ対策が求められているが、本市の取組は。また、今後の取組の考えを示せ。

A 職員に対し接遇の徹底やクレーム対応研修、不当要求防止講習への参加により、資質向上に努めている。近年の社会情勢の変化を踏まえ、多様な方々への配慮と職員が安心して業務にあたれる環境づくりに努めたい。

Q 中山間地域や過疎地域の定住支援施策の今後の計画は。

A 地域の実情やニーズを把握し、効果検証を進めていく。



安武 睦夫 議員



竜門ダム

Q 定住支援は、過疎地域や中山間地域の人口減少を防ぎ、地域の維持、発展につながると思うが、まずは、分家する若者に対しては、移住者と同様の補助金を交付するなど、定住支援施策を拡充する考えは。

A 新たな定住支援施策として新築等に係る補助金について、実施に向け準備を進めている。

半導体関連企業への竜門ダム工業用水供給事業

Q 半導体関連企業への竜門ダム工業用水利用に伴い使用する国営管パイプラインの造成費用の負担金の一部を請求して、厳しい現状にある地域受益農家の負担を軽減する考えは。

A ダム建設当初から関係市町村として多額の負担をしているため、他目的使用料として、経過年数を考慮した応分の負担を求めているが、国の資産であり、その金額については国で算定されるため、現状では未確定である。

Q 「マイナ保険証」の取得は任意なのか。

A マイナンバーカードと保険証の一体化は任意である。



東 奈津子 議員



Q 紙の保険証廃止に関して、どの世論調査でも「延期・中止」が7割を超えている。マイナンバーカードと保険証の一体化によるトラブルは他人の医療情報などが紐づけされていたなど、命にも関わる危険がある。本市での「マイナ保険証」の利用状況は。

A 国民健康保険の令和6年4月のマイナ保険証登録率は58.19%、マイナ保険証利用率は10.19%である。

また、後期高齢者医療保険の令和6年4月のマイナ保険証登録率は49.52%でマイナ保険証利



用率は5.09%である。

Q 全国市区町村の首長の4割超が廃止の延期を要請している。国民皆保険制度運用の保険者として、保険証の廃止をどう受け止めているか。

A マイナンバーカードは、デジタル社会の実現に不可欠なツールであり、市民生活の利便性を向上するものと考えている。マイナンバーカードと保険証の一体化は、医療DXの推進の基盤となるものだと認識しており、今後マイナンバーカードと保険証の一体化を進めていく。

その他の質問

・PFIについて

Q 子ども医療費を金額にかかわらず現物給付できないか。

A 他自治体の状況を含め、調査研究していきたい。



二ノ文 伸元 議員



Q 細やかな子育て支援としてRSウイルス感染症予防薬等の高額医療費、償還払いをなくす為の対策を講じるべきではないか。

A 21,000円を超える一部負担金の助成は、ほとんどの自治体が償還払いで助成しているが、現物給付を実施している自治体も一部あるため、今後、子ども



ラブベンチ

医療費における現物給付について、調査研究していきたい。

ラブベンチ

Q これまでのラブベンチの費用対効果と今後のラブベンチの在り方として現存のベンチの認定、SNS等を駆使した広報活動、フォトコンテスト開催などは可能か。

A 費用対効果の具体的な数値化は困難だが、これから様々な観光戦略等と連動させることにより、整備効果が表れるものと考えている。また、フォトコンテストについては数がないと話題性もないため、長期的に整備していきたい。

子ども議会
議会構成
定例会
委員会・分科会
一般質問
その他



木下 雄二 議員



Q 竜門ダムの未利用水の水源涵養林等、市の活性化に繋がる取組は。

A 水の権利は県が保有しており、市は関与できるものではない。



迫間支館



重味グラウンド

Q 竜門ダムの工業用水の未利用水の活用、TSMC、ソニー等半導体関連企業、関係自治体への水源涵養林等の菊池市の活性化につながる交渉の現状は。

A 菊池台地用水土地改良区として承認しているものの、水の権利は県が保有しているため、市は関与できないものではないと考えている。

環境整備基金の活用

Q 九州産廃菊池事業所廃止後の地元、水迫地区からの環境整備基金活用に対する要望が提出されているが対応の現状は。

A 水迫地区において各要望事項に関する優先度等を決定している。

ただき市へお伝えいただいたうえで、庁内関係部署における協議を行い、環境整備基金条例に基づいた対応を図っていきたい。

菊池市公共施設等総合管理計画

Q 菊池市公共施設等総合管理計画の迫間支館及び重味グラウンドを避難所、ドクターヘリ発着場として存続を求める迫間、水迫地区区長会の要望への対応は。

A 迫間支館については要望書の内容も踏まえ合意形成に向けて丁寧に進めていきたい。重味グラウンドは、ドクターヘリの発着場として利用することです承りいただいている。

その他の質問

- ・ジュニアスポーツ育成ゆり基金
- ・公園等について
- ・国道387号沿いの太陽光発電事業

議会をインターネットで!

傍聴においていただけない場合でも、いつでもインターネットで本会議の録画映像をご覧いただけます。菊池市のホームページより菊池市議会をクリックし、議会中継をクリックしていただく議会録画映像を見ることが出来ます。

使い方の説明も掲載してありますのでご参照ください。

議会事務局

TEL 25-2325



菊池市議会HP
議会中継

菊池市議会 議会映像 検索

議長交際費を公表します

令和6年5〜7月分は、左記のとおりです。

会費（公的性格を有する団体との協議会費および負担金）
5件 2万9,000円

その他（他自治体への研修、および議長会等経費）
0件 0円

合計
5件 2万9,000円

議長交際費は、議長が市議会を代表して対外的な活動を行うために必要な経費として認められており、その支出にあたっては、社会通念上、妥当と思われる範囲にとどめるよう努めています。

令和5年度の政務活動費を公表します

菊池市議会議員の令和5年度の政務活動費の実績を次のとおり公表します。

政務活動費は、議員の調査研究活動などに要する経費として、議員1人あたり月額2万円（年間の上限は24万円）が交付されています。

交付上限額と支給実績額のいずれか少ない方の額が支給実績額となり、交付上限額を超えて支出した場合は、自己負担となります。

(単位:円)

No.	議員名	交付 上限額 (A)	使 途 別 支 出 額					合計 (B)	支給 実績額 (A・Bで 少ない方 の額)	
			会議 研修費	調査 研究費	資料 作成費	資料 購入費	広報費			広聴費
1	本藤 潔	240,000		89,748			177,100	266,848	240,000	
2	安武 睦夫	240,000		110,500	103,130	23,415		237,045	237,045	
3	稲継 智康	240,000		89,748		11,160	108,900	209,808	209,808	
4	古田 浩敏	240,000						0	0	
5	島 春代	240,000			4,030	10,082	126,940	141,052	141,052	
6	大山 宝治	240,000						0	0	
7	田中 教之	240,000		89,754		33,000		165,000	287,754	
8	福島 英徳	240,000		2,620			313,281	315,901	240,000	
9	緒方 哲郎	240,000	211,500	89,748				301,248	240,000	
10	後藤 英夫	240,000		89,748		42,636	76,000	208,384	208,384	
11	平 直樹	240,000		89,748			200,750	290,498	240,000	
12	東 奈津子	240,000	7,000			45,194	112,283	164,477	164,477	
13	水上 隆光	240,000	27,550	89,748		67,152		184,450	184,450	
14	猿渡美智子	240,000	35,350			66,786	137,500	239,636	239,636	
15	荒木 崇之	240,000		1,570		990	676,546	679,106	240,000	
16	工藤圭一郎	240,000						0	0	
17	二ノ文伸元	240,000				31,476		31,476	31,476	
18	泉田栄一郎	240,000		108,000		148,720		256,720	240,000	
19	木下 雄二	240,000					254,670	254,670	240,000	
20	山瀬 義也	240,000		89,748		42,636		132,384	132,384	
合計		4,800,000	281,400	940,680	107,160	523,247	2,183,970	165,000	4,201,457	3,468,712
構成比			6.7%	22.4%	2.6%	12.5%	52.0%	3.9%	100.0%	



← 各個人ごとの収支報告書等は、市のホームページにて、ご覧になれます。

令和6年 第3回
菊池市議会定例会日程の予定



月日	区分	日 程
8月27日	本会議	開会・開議・会期の決定 議案上程・提案理由説明
(8月28日～9月1日 休会)		
9月2日	本会議	質疑・委員会付託
9月2日	委員会	予算決算常任委員会
9月3日 ～ 9月5日	本会議	一般質問
(6月6日～8日 休会)		
9月9日	本会議	一般質問
9月9日 ～ 9月10日 ～ 9月13日	委員会	常任委員会・予算決算分科会 (総務文教・福祉厚生・経済建設)
(9月14日～23日 休会)		
9月24日	委員会	予算決算常任委員会
(9月25日～26日 休会)		
9月27日	本会議	委員長報告・質疑・討論・採決 閉会

※この予定は、会期中に変更になる場合があります。

議会傍聴を
お待ちしております！

定例会は、原則として3月・6月・9月・12月に開かれ、行政に対する一般質問も行います。

日程や一般質問等の詳細は、議会事務局にお尋ねください。また、3階の議場の傍聴席は、バリアフリー対応となっておりますので、本庁1階のエレベーターで3階までお越しくください。皆さまのお越しをお待ちしております。なお、各支所でも生中継でご覧いただけます。



※感染症対策などにより、入場に制限がある場合があります。

9月定例会は8月27日(火)に
開会しました。

編集後記

6月の委員会の改選で、数年ぶりに議会広報特別委員となり、議会広報の改革も歩みを進めてきたのだと改めて感じました。私は議員になって10年ですが、この議会だよりと同様に、どうか政治を身近に感じてもらいたい、ということを目指してきました。終わりはないのかも知れませんが「よりよく、より分かりやすく」という気持ちはやはり大切だと、今回の編集に携わって思いました。これからも市民の皆様にご意見を、委員一丸となって分かりやすくお伝えしていきます。

議会広報特別委員長 平 直樹

議会広報特別委員会

委員長／平 直樹 副委員長／泉田 栄一郎
委員／本藤 潔 安武 睦夫 稲継 智康 大山 宝治